

高齢者肺炎球菌予防接種を受ける方へ

対象者

- 65歳の方
- 60歳以上65歳未満の方であって、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害のある方(身体障害者1級程度)

※既に肺炎球菌ワクチン(ポリサッカライド)の接種を受けたことがある方は対象外となります。

接種回数 1回

実施場所 裏面の指定医療機関一覧表をご覧ください。

※指定医療機関で接種できない場合は、事前に保健センターにお問い合わせください。

接種料金 自己負担2,000円

※生活保護世帯の方は免除(該当者は、保健センターでの手続きが必要です)

一般的注意

- 事前に予約が必要です。(詳しくは指定医療機関にお問い合わせください。)
- 予約日に、都合により接種できない場合や体調が悪い場合は、予約先に連絡し予約日を変更してください。
- 右側の「高齢者の肺炎球菌予防接種について」をよく読み、必要性や副反応についてよくご理解のうえ、接種を受けてください。
- 接種は健康状態の良好なときに受けてください。現在治療中の方は、接種に関して主治医に確認されることをお勧めします。
- 接種当日は健康保険証、接種料金を持参してください。**
対象者2の方は身体障害者手帳、生活保護世帯の方は免除証明書も持参してください。
- 当日は診察があります。上半身脱ぎ着しやすい服装でお出かけください。
- 高齢者肺炎球菌予防接種は法律上の接種義務はないため、自らの意思で接種を希望される方のみ接種してください。
- 定期予防接種として接種して頂くためには、接種意思の確認及び予約票が市町村に提出されることへの同意署名が必要です。介助が必要な方は、本人の状況がわかる家族の方と一緒にお出かけください。その方の責任のもとに同意の代筆をしていただきます。
- 次の場合は**全額自己負担**となります。
 - 接種当日に住民登録がない場合
 - 2回以上接種した場合
 - 接種期間外に接種した場合
 - 過去に高齢者肺炎球菌予防接種を受けたことがある場合(自費で接種した場合も含む)

予防接種を受けることができない方

- 明らかに発熱のある人(医療機関で37.5℃以上)
 - 重篤な急性疾患にかかっている人
 - 肺炎球菌ワクチンに含まれる成分によって、「アナフィラキシー※」を起こしたことのある人
※アナフィラキシーとは接種後30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。
 - その他、医師が不適当な状態と判断した場合
- 1～4には入らなくても医師が当日の診察の結果、接種不適当と判断したときは接種できません。

予防接種を受けるに際し、担当医師とよく相談しなくてはならない人

- 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患のある人
- 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた者及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある人
- 過去にけいれんの既往のある人
- 過去に免疫不全の診断がされている人及び近親者に先天性免疫不全症の者がいる人
- ワクチンの成分に対してアレルギーを呈するおそれのある人

高齢者肺炎球菌予防接種について

1 病気の説明

肺炎球菌による肺炎は、成人肺炎の25～40%を占め、特に高齢者での重篤化が問題になっています。

2 ワクチンの説明

わが国では、約90種類ある肺炎球菌の中で、肺炎を起こす頻度の高い23種類の肺炎球菌を別々に培養し、殺菌後に混合したワクチンを接種します。

副反応としては、注射部位の痛み、熱感、腫れ、赤みが5%以上で見られます。筋肉痛、倦怠感、違和感、悪寒、頭痛、発熱もありますが、いずれも軽く、2～3日でおさまります。

ただし、過去に肺炎球菌ワクチンを受けたことのある人が5年以内に再接種した場合には、強い副反応が出る可能性があるので注意が必要です。

お問い合わせは各市町村の保健センターへ

津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村